

認定こども園化に向けた取組状況について

富田林市こども未来部こども育成課
幼保のあり方検討プロジェクトチーム

認定こども園化に向けた取組 3つの柱

- ① 新たな認定こども園における教育・保育内容の策定
- ② 新たな認定こども園の人員体制及び給与制度案の検討
- ③ 認定こども園化に向けた市立保育所6園の施設整備

① 新たな認定こども園における 教育・保育内容の策定

市立幼稚園・保育所のノウハウ融合によるシナジーの創出

新たな認定こども園における教育・保育内容の策定

新たな認定こども園の将来像・理念

幼保のあり方検討PT・教育保育部会において、24回にわたる議論を経て、新たな認定こども園の将来像や理念を策定しました。さらに議論を深め、現在、具体的な教育・保育内容や運営方法についても検討をすすめています。

認定こども園の教育・保育内容の公表・説明

幼保のあり方検討PT・教育保育部会における議論を経て本年6月に、職員向けリーフレットを作成しました。これをもとに、さらに検討をすすめ、令和9年4月に保護者等・市民の皆様に、広報誌・市ウェブサイト等を通じて、教育・保育内容の公表を予定しています。さらに説明会についても適宜開催し、周知に努めます。

職員研修による幼児教育・保育の質の向上

今年度から、市立幼稚園・保育所の全職員を対象とした職員研修を計画的に実施しています。また、幼保交流のため、お互いの施設を訪問し、保育体験を行います。これらの取組により幼稚園・保育所双方のノウハウ融合を図り、新たな認定こども園における幼児教育・保育の充実と質の向上につなげます。



② 新たな認定こども園の人員体制 及び給与制度案の検討

Ⅰ号認定見受け入れに向けた、人員体制・給与制度等のソフト整備

認定こども園における人員体制案のポイント

※人員体制案については、現在、職員団体と交渉中のため、変更の可能性があります。

教育・保育体制の充実・強化

- (仮称)副園長を各園に2名配置:各園に(仮称)副園長を2名配置し、教育・保育体制強化。うち1名は、子育て支援事業を兼務。
- 1号認定児受け入れ対応:これまでの5歳児クラス1名の担任配置から、2名の職員配置(各園1名のプラス)とし、幼児教育の提供体制を整備。

教育・保育の質の向上と雇用機会の配慮

- 会計年度任用職員の配置:教育・保育の質を高めるための研修時間を確保するほか、バス送迎時の添乗業務に対応するため、会計年度任用職員の配置を検討します。
- 雇用機会への配慮:早ければ、令和12年度から始まる、いわゆる10人ルール(※)により市立幼稚園が休園した場合に対応するため、市立幼稚園の会計年度任用職員については、上記の職員配置枠への円滑な移行をすすめるとともに、市全体の雇用機会について、丁寧に情報提供を行います。

(※)10人ルール:市立幼稚園の園児数が減少する中で、適正規模の集団教育・保育を行うため、2年続けて3歳の新入園児が10人未満となった場合に翌年以降の園児募集を停止する措置。

条例案提出に向けた例規整備について

- ✓ 本年12月市議会へ条例改正案を提出予定

※市立認定こども園設置条例及び関連例規改正（給与条例改正含む）

- ✓ 給与条例の改正については、幼稚園教諭・給料表の一般職給料表への統合を想定

※他市の事例も踏まえ、幼稚園教諭のキャリア・経験を考慮した給与制度改革案を市議会に提出予定です。

③認定こども園化に向けた 市立保育所6園の施設整備

安全・安心な教育・保育環境の構築に向けた施設整備について

施設整備費用について

認定こども園化にかかる施設整備については、建設資材価格等の高騰を踏まえ、昨年6月市議会において、その時点における目安として報告しました約5億円から増額のうえ、本年12月議会に補正予算案（債務負担行為）を提出する予定です。具体的な整備費用につきましては、現在、設計委託業者により、最終的な金額を精査しております。

増額理由：建設資材価格等の高騰

昨今の急激な物価上昇に伴い、建設資材価格および人件費が著しく高騰しています。園児の安全性に配慮した施設整備を確実に実施するため、実勢価格を反映した必要経費の増額となります。

費用節減・財源確保

昨年の想定予算の中では、園児用ロッカーを据え付け工事により設置する予定でしたが、各保育室のレイアウトを柔軟に変更できる可動式のロッカーを備品として購入することで、施設整備費用の節減に努めます。また、公共施設等適正管理推進事業債など、財政面で有利な地方債の活用を検討します。

主な施設整備内容

市立保育所6園共通で以下の基本改修を実施し、安全・安心で快適な教育・保育環境の構築に向け、施設整備を行います。さらに、各園の施設状況に応じた改修を並行して実施します。

-  床・壁等の内装改修：明るく快適な保育空間の確保
-  外壁改修：建物の長寿命化と安全性の確保
-  トイレ改修：便器等の更新による衛生面の向上
-  全面LED化：省エネ化と適切な照度の確保
※2027年末までに一般照明用の蛍光灯の製造が段階的に終了



※イメージ

認定こども園化スケジュール(予定)

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	R9年度(4月～)
市議会			9月定例会			12月定例会			3月定例会	
			全員協議会 取組状況 報告		全員協議会 議案説明 報告	条例改正案提出 (設置条例含む)				
						補正予算案提出 (債務負担行為)				
施設整備	委託業者による認定こども園化に伴う整備費用算出(整備項目別)									
	委託業者による認定こども園化に伴う改修設計業務					施設整備工事の入札手続き			契約	施設整備工事(10か月間程度)
保護者等・市民への周知	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告	部会状況 WEB報告
									教育・保育内容について広報誌・市ウェブ サイトで公表(説明会は6月実施予定)	

(別添) 市立認定こども園職員向けリーフレット



職員向け

笑顔ひろがる みんなで育つ こども園

～ こどもも大人も毎日「ここに来たい」と思える場所 ～

私たちのこども園は、こどもをまんやかに家庭・地域・職員が
手を取り合い、こどもも大人も毎日「ここに来たい」と
思える、安心して笑顔で過ごせる場所をめざします。

一人ひとりの個性や発達、背景を尊重し、遊びや多様な体験を
通して、主体性・自己肯定感・人とつながる力を育みます。

自然や地域とのつながりを大切にし、四季や文化に触れる豊かな
体験を保障するとともに、小学校以降の学びへとスムーズに
つながる環境を整えます。

職員は互いの専門性を認め合い、協力しながら、
こどもと家庭を包括的に支援します。

ここに集うすべての人に笑顔がひろがり、毎日「ここに来たい」と
心から思える、共に育ち合うこども園であり続けます。



デイリープログラム

		7:00	9:00			12:00			15:00			17:00	18:00	19:00		
5歳児	1号	登園	朝のあいさつ 身の回りの始末 好きな遊び	クラスの活動	給食	片付け 休息	一日のふりかえり 好きな遊びや活動	降園			預かり保育 (順次降園)					
	2号								順次登園	★1・2号児は同じ活動を行います。		おやつ	好きな遊び	延長保育 (順次降園)		
		★1・2号児は同じ活動を行います。														
3・4歳児	1号	登園	朝のあいさつ 身の回りの始末 好きな遊び	クラスの活動	給食	片付け 休息	一日のふりかえり 午睡準備 午睡・休息	降園			預かり保育 (順次降園)					
	2号								順次登園	★1・2号児は同じ活動を行います。		おやつ	好きな遊び	延長保育 (順次降園)		
		★1・2号児は同じ活動を行います。														
0～2歳児	3号	順次登園	おやつ	クラスの活動	給食	好きな遊び	午睡	おやつ	好きな遊び	延長保育 (順次降園)						
		7:00	9:00			12:00			15:00			17:00	18:00	19:00		

春

- 入園式
- こどもの日のつどい
- 保育参観

夏

- 夏まつり
- プール遊び
- プラネタリウム

秋

- 敬老の日のつどい
- 運動会
- 乳児保育参観

冬

- クリスマス会
- 幼児生活発表会
- 節分
- お別れ会
- 卒園式

毎月

- 身体測定
- 避難訓練
- 誕生会

その他

- 栽培活動
- クッキング
- 遠足

地域に根ざす 認定こども園

※年間を通し、自然にかかわる
中でさまざまな感覚を働かせ
ながら、のびのび遊びます。

※近隣の学校や地域の方々と
の交流も大切にしています。

※園庭開放や子育て支援事業
などを行っています。

※年齢によって参加する行事が異なる場合があります。

(別添)市立認定こども園職員向けリーフレット



【めざすこども像】

「心豊かに、たくましく、しなやかに生きるこども」

～自分と向き合い、人とつながり、未来を切り拓く力を育む～

○心と体がいきいきと育つこども

- ・よく食べ、よく遊び、よく眠ることで、しなやかで活力ある体を育む
- ・安心できる環境の中で心が満たされ、穏やかに過ごす
- ・心身ともに調和のとれた生活を送り、意欲的に物事に取り組む
- ・自分の気持ちを受け止めてもらい、自己肯定感を育む



＊「食べることは生きること」という考えのもと、食育を通して心身の調和を支えます。

○主体性と学びの芽をもつこども

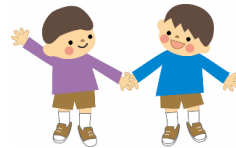
- ・「やってみたい」という気持ちを原動力に、自ら考え、挑戦する
- ・好奇心をもち、豊かな体験から学ぶ
- ・自己決定・自己選択を通して、自信と達成感を得る
- ・遊びや生活の中で気付きや発見を重ね、学びに向かう力をもつ



＊自制心・創造性・問題解決力・協調性など、目に見えない力を育てることで、こどもたちが未来を生き抜く力の土台を築きます。

○思いやりと人とかかわりを大切にすることも

- ・自分も友だちも大切にし、互いを認め合う
- ・困っている人に寄り添い、優しい気持ちを育む
- ・人とかかわることを喜び、協力して取り組む
- ・信頼関係の中で安心して気持ちを表現できる



＊遊びや日常のかかわりを大切に、共感力や人間関係の構築力を育みます。

○自分の感じたことをのびのびと表現できるこども

- ・豊かな感性をもち、感じたことを自由に表現する
- ・環境とかかわりの中でイメージを豊かにし、創意工夫する
- ・好きなこと・得意なことを見つけて、自分なりの表現を楽しむ
- ・文化や自然に触れながら心を動かす体験を重ね、感性と表現力を育む



＊感動したり発見したりする経験を大切に、遊びや生活を通して表現する意欲を育みます。

【こども園の職員として大切にしたいこと】

1. こどもに寄り添う姿勢

- ・一人ひとりのこどもをかけがえのない存在として尊重し、愛情深くかかわる
- ・こどもの気持ち・興味・関心を受け止め、安心できる信頼関係を築く
- ・自主性や挑戦する気持ちを尊重し、その育ちを温かく支える
- ・こどもの個性・発達段階に応じて丁寧にいかかわる



2. 保育・教育の実践

- ・遊びや生活の中に学びを見出し、非認知能力(※)を育む保育を実践する
- ・0歳からの育ちを見通し、長期的な視点で豊かな体験の積み重ねを大切にする
- ・生活習慣(食事・睡眠・着替え・挨拶など)が身に付くよう丁寧にいかかわる
- ・こどもの自己決定力を育む環境づくりを意識する

3. 保護者・地域との関係づくり

- ・こどもの成長を具体的に伝え、家庭と喜びを分かち合う
- ・多様な家庭環境に寄り添い、安心できる信頼関係を築く
- ・妊娠期からの子育て支援を視野に入れ、保護者と共にこどもの育ちを支える
- ・地域の人や文化と関わる機会をつくり、つながりを大切にする

4. 職員としての姿勢

- ・チームで保育する意識をもち、情報共有と協力を大切にする
- ・職員同士が互いの良さを認め合い、学び合う関係を築く
- ・柔軟な姿勢で新しい価値観や発見を受け入れ、学び続ける
- ・保育を語る場を大切に、自信と誇りをもって保育に向き合う



5. 園の風土づくり

- ・こどもも職員も安心して過ごせる、温かく落ち着いた雰囲気をつくる
- ・対話を大切に、思いやりと信頼に満ちた職場環境を築く
- ・職員一人ひとりが自分を大切に、互いに支え合える関係を育む
- ・こどもたちの育ちを第一に考え、職種を超えて協働する姿勢をもつ

(※) 非認知能力とは、IQなどでは測れない「生きる力」のこと。